

熊本県中学校総合体育大会 軟式野球競技大会要項

◇ 主催	熊本県中学校体育連盟	熊本県教育委員会		
◇ 共催	玉名市教育委員会	荒尾市教育委員会	山鹿市教育委員会	南関町教育委員会
	長洲町教育委員会	和水町教育委員会	玉東町教育委員会	
◇ 期日	平成30年7月21日(土)～22日(日)			
◇ 場所	桃田運動公園野球場(21・22日)			
	荒尾運動公園野球場(21・22日)			
	山鹿市民球場			
	天水中学校グラウンド			

- 1. 種目名** 軟式野球
- 2. 参加資格**
- (1) 県下中学校に在籍している生徒で、郡市代表と認められた単一校で編成されたチームであること。
 - (2) 監督(引率責任者)・コーチは、当該校の校長・教員・部活動指導員とする。教員・部活動指導員以外のコーチは校長が認めた者とする。
 - (3) 参加資格の特例を認める。(開催基準9 複数校合同チーム)
- 3. 参加料** 参加選手一人につき、700円とする。参加申込後の返金はしない。
- 4. 参加制限**
- (1) ①各郡市代表1チームとする。ただし、熊本市より2チームの出場を認める。(熊本市中体連は参加チームが25を超える場合、3チームの出場を認める)
 - ②開催地よりさらに1チームの出場を認める。
 - ③各郡市中体連大会の参加チーム数が17チーム以上の場合、1チーム追加出場を認めるが、大会運営可能の場合に限る。
 - ④参加チームが16チーム未満の場合は、さらに開催地より1チームを補充することができる。
 - (2) チーム編成は、監督(引率責任者)1名・選手18名(スコアラーを含む)・この他に教員を2名追加することができる。ただし、教員・部活動指導員以外のコーチが入る場合は1名とし、計21名以内とする。なお、監督は背番号30をつけるものとする。
- 5. 競技方法** トーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。
- 6. 競技規則及び使用球・用具**
- (1) 2018年公認野球規則及び本大会特別規定並びに大会実行委員会申し合わせ事項による。
 - (2) 試合は7回までとする。
 - (3) コールドゲームは、5回以降得点差が7点以上の時適用する。ただし、決勝戦は除く。
 - (4) 延長戦は、9回までとし、以降10回から12回までタイブレークを行う。ただし、大会1日目については7回終了時点で、2時間を超えている場合は、延長戦を行わず、ただちにタイブレークを行う。延長戦の途中で2時間を超えた場合も同様にタイブレークとする。(※タイブレーク戦は最大3イニングまでとする。)
- 【タイブレーク戦】** 継続打順で、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁3塁の走者は順次前の打者とする。すなわち、無死満塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。12回までに勝敗が決定しない場合は、最終出場選手9人全員による抽選を行う。ただし、決勝戦は12回までに決定しない場合、両校優勝とし、九州大会の出場順位は抽選とする。
- (5) 各チームは、揃いのユニフォームにシート順による背番号をつける。監督も同じユニフォームを着用する。※合同チームにおけるユニフォームは、それぞれの学校のユニフォームでもよいものとする。
 - (6) 使用球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認B号球とする。
 - (7) 使用する用具は、(公財)全日本軟式野球連盟公認のものとする。
 - (8) 打者・走者・次打者・ランナーズコーチは、ヘルメットを着用する。
- 7. その他**
- (1) アピール(規則適用上の疑義の申し出)が出来るのは、監督と当該プレイヤーに限る。
 - (2) 本大会上位2チームは、九州中学校総合体育大会への出場資格を得る。
 - (3) 各学校の引率の先生には、役員をしていただくこともあります。
 - (4) 熊本県中体連では別紙個人情報保護方針に基づき、熊本県中体連が保有する情報の適正な管理と保護に努めます。

熊本県中学校総合体育大会軟式野球競技特別規定

1. 第1試合のメンバー用紙交換及び攻守決定等は、試合開始予定時刻の40分前とし、2試合目以降は、前試合の4回終了時とする。また、同一チームが連続して行う試合のメンバー用紙交換及び攻守決定等は、試合開始予定時刻の20分前とする。※監督と主将がメンバー用紙4部持参して本部に集合。
 2. ベンチは、抽選番号の若い方を1塁側とする。
 3. シートノックは後攻側から始め、7分間とする。ただし、各会場1回戦・準決勝戦のみとするが、2回戦や決勝戦において、会場移動をともなう場合、移動してきたチームが希望をすればシートノックを行ってもよいものとする。シートノック時ノッカーはユニフォームを着用すること。また、選手18名以外の補助員は3名認める。ただし、ヘルメット着用のこととする。
 4. メガホンは監督のみ1個使用できる。
 5. リストバンド、スプレーの使用は禁止する。また、マスコットバット、バットリング、鉄棒、公認球以外
のボール等、試合で使用しないものの球場内への持ち込みは禁止する。
 6. 規則5.10(d)原注、「投手は同一イニングでは、投手が一度ある守備についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることはできないし、投手に戻ってから投手以外の守備位置に移ることもできない」は、適用しない。
 7. 規則5・10(0)関連(監督が投手のところへ行く回数の制限)
 - ①監督が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお、延長戦(タイブレークも含む)は、2イニングに1回行くことができる。
 - ②監督が、同一イニングに同一投手のところへ2度目に行くか、行ったと見なされた場合(伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手のところに行かせた場合)は、投手は自動的に試合から退かなければならない。この規則については、中学野球では交代した投手が他の守備位置につくことが許される。なお、他の守備位置についたときは、同一イニングには再び投手には戻れない。
 8. 守備側のタイムの回数制限
捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお延長戦(タイブレーク戦も含む)となった場合は、2イニングに1回行くことができる。野手(捕手も含む)が投手の所へ行った場合、そこへ監督が行けば、双方1度として数える。逆の場合も同様とする。
 9. 攻撃側のタイムの回数制限
攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なお延長戦(タイブレーク戦も含む)は、2イニングに1回行くことができる。
 10. ベンチには登録された監督、コーチ、選手以外は入れない。ただし、当該校校長(学校代表者)は、入場できる。
 11. 監督・コーチはチームと同一のユニフォームで、監督は背番号30をつける。コーチのユニフォームは、チームと同一のユニフォーム(背番号29、28をつけたもの)か、平服(白を基調としたポロシャツ)と同一の野球帽とする。ユニフォームの場合、選手と同じ色のスパイク(アップシューズも可)を履くこと。
 12. 試合時間短縮に各チームとも積極的に協力すること。
 - ・攻守交代時、守備側はボールを投手プレート上においてベンチに戻ること。
 - ・守備のボール回しは定位置付近で行う。試合進行上禁止することがある。
 13. 雨天時による大会実施可否の判断及び日程変更については県中体連本部が決定する。
- 【遵守事項】**
1. 自軍ベンチ側のファウルボールは速やかに拾いに行き、係員に渡す。
 2. 攻守の交代は迅速に行ない、先頭打者とベースコーチは速やかに所定の位置につく
 3. 投手はプレート上でサインを受け、時間短縮に協力すること。
 4. 事故防止のために、捕手のレガース・プロテクター・ヘルメット・スロートガード・ファウルカップと、打者、走者、次打者、ベースコーチの両耳用ヘルメットは必ず着用すること。
 5. 各チームの監督は、球場を去る前に大会本部(会場責任者)に連絡し、次の試合日程の確認を行なう。
 6. 選手の頭髪・身なり等は中学生らしくマナーには十分留意すること。

平成30年度熊本県中体連軟式野球大会要項・特別規定に記載されていない遵守及び確認事項

1. 運営等に関すること

- (1) 試合終了は、ホームプレートをはさんだ挨拶で全てとする。また、相手チームのベンチ及び本部席への挨拶は行わず、自チーム応援席への挨拶後、ベンチを速やかに空ける。
- (2) スタンドや観客席にテント等を張ることはいけない。また、応援用の横断幕は、スタンドフェンスのグラウンド側ではなく観客席側につける。
- (3) スタンドでの応援は、次の事項を守り、基本的に各チームの監督が責任をもって指導する。
 - ①相手チームを野次ったり、相手チームに不利を招くような応援はしないこと。
 - ②応援席周辺を散らさないこと。
 - ③中学校野球にふさわしい応援をすること。
 - ④ベンチ及びベンチと定められた場所の後方等での応援や立ち入りをしないこと。
 - ⑤鳴り物（太鼓1個・ペットボトル・しゃもじ・メガホン等）を使用する場合は、自チームの攻撃時のみとする。守備時は、鳴り物にさわらずに、座っていることがのぞましい。

2. 試合前に関すること

- (1) 試合前に用具検査及び選手確認とマナーチェックを行う。
- (2) シートロック時、投手のマウンドでの投球練習を禁止する。また、シートロックをしていないチームはベンチ内で待機すること。ただし、先発投手の投球練習場での投球練習は認める。
- (3) 2試合目以降の先発バッテリーに限り、前試合のオーダー交換後、球場内のブルペンを使用することができる。服装は試合用ユニホームとする。また、捕手は捕手用具の全てを装着すること。
- (4) 同一チームが連続して試合を行う時の2試合目の開始時刻は、次のようにする。
 - ①1試合目終了から40分後を原則とするが、天候によっては本部で判断することもある。
 - ②会場の移動を伴う時、移動をしてきたチーム全選手が到着後、30分後とする。

3. ルール等に関すること

- (1) 選手の使用する手袋は、白または黒の単一色及び両手同色の色とし、華美にならないようにする。
- (2) 攻守交代時の代理捕手は、必ず捕手用ヘルメット・スロートガード付きマスク（一体型も含む）・プロテクター・レガースを使用する。また、ファウルカップの着用が望ましい。
- (3) 攻守交代時、控えの選手の外野の方向へのランニングは認める。
- (4) 控えの選手が素振りをするサークルを各会場において設ける。ただし、守備時に限り使用を認める。また、ネクストバッターと同様に投手が投球動作に入ったら、素振りをしないで

待つ

- (5) こととする。投手も必ず次打者席に入ること。
- (5) 突発的な事故が起きた場合、一時走者を代えたいときは球審に申し出て、審判が必要と認められた場合は、これを許可する。臨時代走は、投手・捕手を除く打者前位のものとする。
- (6) 熱中症対策として、4回裏終了時に3分間程度の給水タイムと簡単なグラウンド整備を行う。その時、選手は全員ベンチに入ること。（5回表に入る前の投手の準備投球に限り、5球以内とする。）また、タイブレーク戦に入る前にも給水タイムを設ける。

4. マナー等、その他確認事項

- (1) 選手のユニフォームのソックス・ストッキングは、2枚着用する。また、ストッキングについては、チームでミドル・ローなどの統一をする。
- (2) 投手のグラブの色は1色とする。
- (3) 手首サポーターは、医療目的のためのみ使用する。その場合、試合前に本部と相手チームの了承を得ること。（手袋と一体型のも不可）
- (4) バットのグリップテープは、きちんと巻いたものを準備すること。
- (5) 必ず監督が、選手交代を告げること。